



2011年12月5日

N0、472

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

必ず「教育基本条例案」を撤回させよう！

全国も注目したダブル選挙で、橋下市長と松井知事が誕生しました。

自公でダメ、民主もダメ、景気の先行き不安・雇用不安という時代の閉塞感が強まる中で、維新の会が世論を捉えた結果になりました。

橋下氏は、選挙直後に、「教育基本条例案」や「職員基本条例案」について、「今回の選挙で、反対論もすべて出し尽くしたうえで、有権者が出した結論だ。」などと発言。府議会だけでなく、市議会でも二条例制定を目指す考えを示しました。

しかしながら、橋下氏や維新の会は、選挙公報ではまったくこの問題に触れていませんでした。有権

者に、この二条例案の内容が伝わっていたかどうかは疑問です。

一方、この選挙を通じて「独裁政治ストップ、民主主義を守ろう」という市民・府民の共同が広がったことは、今後の闘いの展望を切り開く大きな力となるものです。

大阪労連や全労協など7つの組合が「独裁政治を許さない行動を」と共同アピールを出し、連合大阪事務局長が「同じ思い」とコメントしました。

さらに、女優の竹下景子さんや「尾木ママ」こと尾木直樹さんらが68人が名を連ねたアピールなど、条例案に反対する声は全国に広がっています。

全教豊中は、9月から、選挙中も含め、10回の駅頭宣伝を行ってきました。

二月府議会で、再審議される前に、もつと市民に条例案の内容を知らせ、撤回させましょう。

「教育基本条例案・職員基本条例案」の撤回を求める府民集会

☆ 12月7日（水）午後6時30分

☆ 中之島中央公会堂

☆ 講演「取り返しのつかないことが起きる前に～大阪・教育基本条例（案）が引きずり込もうとする先は？」

☆ 講師 小野田正利さん

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な ！

「知らせていただき、ありがとうございます！」
「行っていないければ、なぜ、自分は落ちたのかわかりませんでした。面接の評価が低くて合格しなかったことがわかり、来年度の対策を考えられます。」

大阪府教育委員会は、平成二十四年度採用選考不合格者に対する得点の口頭開示を十一月一日～八日の一週間行いました。

この口頭開示は、本人が直接聞きに行けば、二次選考での面接・筆答・実技のそれぞれの点数を本人に伝えるところです。

府教委も市教委も

周知せず

今回から初めての口頭開示ですが、一〇月末に合否が知らされた時には、この

ような口頭開示が行われることは、受験者に何も知らされていませんでした。多くの不合格者が、今回口頭開示が行われたことを知らずにいたことが予想されます。

府教委は、この口頭開示をHP上でアップしただけで、何ら周知することをしていませんでした。

全教豊中は、十一月四日にこの口頭開示のことをつかみ、市教委に各学校の講師の方に周知するよう求めました。

当初、「検討する」と返事していた市教委ですが、「誰が受験しているのか、

学校長が知らない。」「合格者・不合格者を学校長が把握することになっていない。」「府教委から、この件で何の指示もきていない。」「組合員の講師の人に知らせてもらったらいい。」といった返答をしてきました。

全講師に知らせるべき

全教は、「講師の組合員さんに口頭開示を知らせることはもちろんだが、組合員に入っている入っていないに関係なく、みんな教師になりたいくて採用試験を受けている。なぜ、自分は受からなかったのかわからなく

来て困っている人もいる。来年度に活かすためにも、口頭開示が行われていることを、各学校に知らせるべきだ。」と強く主張しました。

職場の全教組合員から、口頭開示のことを知らされて聞きに行った方は、「何がダメだったのか、わかりました。来年度に向けて、対策が考えられそうです。」と喜んでおられました。

府教委の指示がなかったから知らせないという、主体性のない市教委の態度は改めるべきです。

全教 教員免許更新制アンケート実施

アンケートへのご協力 お願いします！

全教では、これまでに二度「教員免許更新制にかかわるアンケート」に取り組み、その結果をまとめて、実態の告発を行ってきました。

8月に文科省が発表した資料によると、09年から始まった更新制において、98名の免許失効者が出たことがわかりました。その中には、管理職や教育委員会の対応の悪さが原因になったものも明らかになっています。

また、今年度の初めから、更新講習の受け入れ数が少ないために、受講希望者の多くが申請を受理されないまま放置される事態も続いています。

これまでの受講者、そして今年度受講された皆さんの、アンケートへのご協力をお願いします。

アンケート用紙は、全教組合員が持っています。声をおかけください。

教員免許更新制にかかわるアンケート

※ 11年度更新講習受講該当者と受講済のみさんの回答をお願いします。

全日本教職員組合（全教）では、これまでに2度の「教員免許更新制にかかわるアンケート」にとりくみ、その実態をまとめ実態の告発を行ってきました。8月5日に文科省が発表した資料によると、09年から始まった「教員免許更新制」において98名の免許失効者が出たことがわかり、その中には管理職や教育委員会の対応の悪さが原因になったものもあることが明らかになっています。また、今年度の初めから、更新講習の受け入れ数が少ないために受講希望者の多くが申請受理できないまま放置される事態も続いています。

このような状況を受けて、全教では第3次アンケートに取り組みます。これまでアンケートにご協力いただいた方にも、再度ご協力をお願いします。また、今年度受講該当者の方も、ぜひアンケートにご協力ください。

■ 基礎データ	
[A] 年齢（更新講習受講時の年齢）	右枠内に直接記入
[B] 性別	右枠内に直接記入
[C] グループ（受講年度）	①第1（2009-2010） ②第2（2010-2011） ③第3（2011-2012）
[D] 受講校種・職種	①幼稚園 ②小学校 ③中学校 ④高校 ⑤特別支援学校 ⑥養護教諭

■ 質問事項

【1】教員免許更新制について伺います。

(1) この制度について、今後どうすべきだと思いますか？

① 廃止すべき
② 改善してこのまま続けるべき
③ このまま続けるべき
④ わからない
⑤ その他（ ）

(2) この制度について、文部科学省は「その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることをめざす」としています。実際に更新講習を受講されて、あなたは免許更新制をどのよう

に評価されますか？

① この制度で教育はよくなる
② この制度で教育はよくなる
③ どちらともいえない
④ その他（ ）

どう考える？

小中一貫校

ことで解消
されます。
学校にも持ちこまれよ
うとしています。

狙いは統廃合

中一ギャップ
をなくす？

池田市が進めようと
している小中一貫校は、
2000年に広島県呉
市で始まったのを皮切
りに、全国に広がって
います。

小中一貫教育導入の理
由は、池田市教育委員
会をはじめとして、ど
の自治体も「中一ギャ
ップの解消」というも
のです。

「中一ギャップ」とは、
子どもが中学校生活に
なじみず、不登校やい
じめが増えるというこ
とです。文科省による
と、不登校の子どもは、
小6にくらべて中1で

約3倍になり、把握さ
れたいじめの数も倍に
なります。

しかし、「中一ギャッ
プ」という根拠は薄弱
です。心理学や教育学
の検証があるわけでは
ありません。中学校と
いう新しい環境の中で、
新たな人間関係を築き、
教職員も援助する中で、
中1で不登校になりか
けた生徒が2年生から
は欠席することなく登
校できるようになった
例、いじめがなくなっ
た例も、中学校の先生
からは聞きます。

小学5年から

定期試験！

東京都品川区の伊藤
学園では、中学での急
激な変化に慣れさせる
として、小学5年生か
ら50分授業になり、
教科担任制を取り入れ、
中間・期末試験を実施。
教科ごとの点数分布表
も配られます。これ
は、早くからできる子
で、できない子がはつきり
分かれ、勉強嫌いを増
やすことになりかねま
せん。

ゆくゆくは、飛び級
制度導入も考えていて、
少数のエリートとその
他大勢という分断が、

東京都品川区が、施設一
体型の小中一貫校を推進す
る理由としては、「二つ建
てるより一つ建てた方が安
くすむ」ということもあり
ます。地上五階地下二階の
巨大な建物。一つの運動場
を、小一から中三までの児
童・生徒一〇〇人以上が
一緒に使います。人数が多
く、場所が狭いため二〇分
休憩は、小学生もありませ
ん。経済効果をあげるため、
跡地は売却します。

教育とは、子どもの
生きる力を育むこと、
未来を担う人間を育て
ることです。財政効率
化だけでは、子どもの
発達する力を奪ってし
まいます。